

山田養蜂場のカンボジア教育支援活動
第5校目となる学校を建設
2月26日(火)に寄贈式を行いました



スワイリエン州に寄贈したポートム中学校の新校舎(山田養蜂場ミツバチ第五中学校と命名)
2列目左より13番目 弊社の田坂有加執行役員

株式会社 山田養蜂場(本社:岡山県苫田郡鏡野町 代表:山田英生)は、「特定非営利活動法人 JHP・学校をつくる会^{*1}(以下JHP)」と協力して、2013年2月、カンボジアのスワイリエン州に新たな校舎を建設・寄贈し、2013年2月26日(火)に寄贈式を行いました。

2008年より始まったこの活動は5年目を迎え、今回の寄贈が第5校目となります(1~3校目は小学校、4校目と今回は中学校)。今回の学校建設資金には、2011年末にお客様にご購入いただきました「2012年ミツバチの絵本チャリティカレンダー」の収益と、カンボジア学校支援基金へのご寄付など総額10,000,000円分を充てさせていただきました。

今後も弊社は、JHPと協力して、カンボジアに学校を毎年1校ずつ寄贈していく予定です。

本件に関するお問い合わせ

株式会社 山田養蜂場 文化広報室 小野、柏原
〒708-0393 岡山県苫田郡鏡野町市場194
TEL:0868-54-1906 (月~金 9:00~17:30、土日祝除く)
FAX:0868-54-3346 <http://www.3838.com>

カンボジアへの学校寄贈の内容

◆カンボジア学校寄贈の詳細

学校名	山田養蜂場ミツバチ第五中学校
寄贈場所	カンボジア・スワイリエン州 ポートム村 (カンボジアの首都プノンペンより南東にあり、自動車です約3時間かかる場所にあります。)
学校概要	生徒数：891名（21クラス）、教員：41名 2部制での運営。
寄贈内容	校舎1棟6教室、トイレ1棟5室、貯水タンク1基、 備品（黒板、机、椅子、靴箱）など

◆カンボジアの教育環境

カンボジアは日本と同じく、中学校まで義務教育となっておりますが、長きに亘る内戦などの影響で、学び舎である校舎や、教師といった知識人が不足しています。カンボジア政府とNGOの支援により、小学生の就学率は約95%と大きく改善してきましたが、中学校に関しては、本来の年齢で通うべき学年に通えている学生の就学率は約32%であり、中学校に就学する年齢を越えて中学校に通っている学生を入れても約58%です。また、中学校全体の約35%がライフラインの飲料水が確保できず、約16%はトイレが備わっておりません。

将来を担う人材の育成は急務であり、弊社としても、学校建設・寄贈の支援に加え、情操教育などの支援も継続的に行っていく予定です。

今回寄贈した校舎により、就学率が少しでも向上していくことに期待しております。

※カンボジア教育指標（作成：カンボジア王国教育・スポーツ・青年省）を参照

◆学校名は「山田養蜂場ミツバチ第五中学校」

学校名には、これまでに支援した学校と同じく、カンボジアの子供たちに、ミツバチのように皆が仲良く、勤勉に学んで欲しい、という想いを込めています。

ポートム中学校の建設前の生徒数は891人で21クラスあるにも関わらず、既存の校舎は1968年に建設された4棟16教室のみでした。遠方の学校に通っている学生の環境を整えるため、クラス数を増やすべく、新校舎の建設が待ち望まれていました。



◆寄贈式の内容

2月26日(火)の午前9時30分(現地時間)に行われた寄贈式では、生徒・教員・村民・来賓等関係者を合わせて約700名(JHPの理事長 松本伸夫氏、弊社 執行役員 田坂有加)が参加し、盛大に行われました。

JHP代表の小山内美江子氏^{※2}の挨拶を代読された松本氏は、「しっかり勉強するだけでなく、ボランティア精神を持って、世界に羽ばたいていけるような立派な人に育ってください」というメッセージを児童や現地の方々に届けられました。JHPの学生ボランティアは「幸せなら手をたたこう」などの歌を日本語で披露しました。

また、弊社が同時に支援しているマーチングバンドが迫力ある演奏を披露し、あたたかい雰囲気の中寄贈式は終了いたしました。



◆生徒代表 ヌン・ソックネさん 中学2年生(16)のコメント

「私たち生徒は、嬉しさと喜びで満ち溢れています。このご寄贈に対する私たちの感謝の気持ちを表すべく、ポートム中学校の生徒を代表しまして次のことを誓います。一生懸命勉強します。この校舎と備品を大切に使います。良き生徒、良き友人、良き子供になります。また、生徒を代表しまして、日本の皆さまが災害に遭いませんように願っております。」



※1 JHP・学校をつくる会

小山内氏がイラク戦争をきっかけに経験した海外ボランティアを通じて、カンボジアへの学校建設の重要性を実感し、1993年にボランティア組織を結成。学校建設のみならず、現地での美術や音楽などの情操教育にも注力。また、カンボジア以外の国々でも様々なボランティア活動を展開している。2004年には「認定NPO法人」として認可が出る組織にまで充実。今回のポートム中学校が289棟目の支援となる。

(HPアドレス：<http://www.jhp.or.jp>)

※2 小山内美江子(おさない・みえこ)氏プロフィール

1930年横浜生まれ。神奈川県鶴見高等女学校卒。1951年東京スクリプター協会会員として映画制作に参加。1962年NHKテレビ指定席「残りの幸福」でシナリオライターとしてデビュー。

1990年の母親の死と中東の湾岸危機を契機に、国境を越えたボランティア活動という新たな一歩を踏み出す。執筆の傍ら、「JHP・学校をつくる会」代表を務める。2003年には文化庁より文化交流使を任命される。日本シナリオ作家協会会員。NHK厚生文化事業団理事。熱海国際交流協会顧問。国際ボランティア・カレッジ塾長。東京未来大学客員教授。

(参考：<http://www.jhp.or.jp/shoukai/aisatsu.html>)